

令和3年度事業報告書

令和3年度の、本県の有効求人倍率は、1.1倍台から1.3倍台で堅調に推移しました。これに伴い、令和4年3月卒の大学生や高校生の県内就職内定者の割合は前年より高くなりました。

【県内就職者内定割合】 (各年3月末現在：令和4年4月26日 岩手労働局発表)

区分	令和4年3月卒	令和3年3月卒	差
大学生	44.9%	43.4%	+1.5ポイント
高校生	74.0%	71.3%	+2.7ポイント

一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度に続き、いわて就職マッチングフェアの一部や岩手県U・Iターンフェアの中止を余儀なくされました。

このような中、財団では、県との共催により首都圏等に岩手暮らしや県内企業の魅力を発信するオンラインイベントを開催したほか、ホームページを改修し、求職者と登録企業がメールで情報交換できる機能等を整備しました。

また、岩手日報タブロイド版広告を作成し、県内の企業情報等について岩手日報購読者や県内の高校生全員に向けて発信するなど、幅広い世代に向けての若年者の県内就職に係る機運の醸成を図りました。

令和2年度に導入した就職活動交通費支援制度については、コロナ禍で地方移住への関心が高まる中、新たに、インターンシップや企業訪問等イベント参加以外の就職活動も支援対象に加えるなどの拡充を図りました。

資産の運用については、資金運用計画に基づき運用を行い、計画を上回る利息収入を確保しました。

対面型イベントの中止によって、会場費や設営費等は節減できたものの、広告費やガイドブックの送料など節減できなかった経費もあり、中止に伴う経費節減効果は限定的だったほか、岩手日報のタブロイド版発行など当初計画になかった事業に積極的に取り組んだ結果、最終的には赤字決算となりました。

1 就職イベントの開催

(1) いわて就職マッチングフェア（県内）

令和4年3月卒業予定の学生や一般求職者を主な対象としたいわて就職マッチングフェアは、今年度5回開催する計画としていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、8月のマッチングフェアⅣ及び2月のマッチングフェアⅠの中止を余儀なくされ、実施は3回にとどまりました。実施した3回はいずれも200人を超える参加者があり、コロナ禍にありながら、対面型イベントへの期待の高さがうかがえる結果となりました。特に、3月に実施したフェアⅡは、直前に発生した震度6強の地震や当日の暴風雪により交通機関の乱れにもかかわらず、200人以上の参加者がありました。

4回実施した昨年度と比較すると、トータルでは出展企業数、参加者数とも減少していますが、一回当たりの平均で見ると、出展企業数は約2割増えていますし、参加者数もわずかですが増えています。

No	名 称	開催日	結果	出展企業	参加者
1	フェアⅢ	3年5月8日(土)	実施	125社 (中止)	227名 (中止)
2	フェアⅣ	3年8月12日(木)	中止	— (124社)	— (220名)
3	フェアⅤ	3年11月20日(土)	実施	153社 (90社)	240名 (139名)
4	フェアⅠ	4年2月19日(土)	中止	— (115社)	— (241社)
5	フェアⅡ	4年3月19日(土)	実施	135社 (124社)	219名 (305名)
合 計			3回実施 (4回実施)	413社 (453社)	686名 (905名)
1回当たりの平均				137.7社 (113.3社)	228.7名 (226.3名)

(注1) 出展企業、参加者数の下段は、前年同時期のイベントの数値

(注2) 会場は、5回とも岩手産業文化センター・ツガワ未来館アピオ(滝沢市)

【実施した主な感染症対策】

- ① 参加者数を把握するため事前予約(登録)制の継続実施
- ② 来場者の検温、手指・椅子等の消毒の徹底
- ③ 2階観覧席を開放し、参加者の休憩場所等に活用
- ④ 企業と求職者の入り口を分けるなど動線の分離
- ⑤ すべての入場者にフェイスシールドを無料配布 など

なお、中止となったイベントのガイドブックについては、下記のとおり配布し、有効に活用しました。

No	配 布 先	配 布 部 数	
		フェアⅣ	フェアⅠ
1	事前申し込み求職者	161	65
2	送付希望のあった個人	56	20
3	出展予定企業	124	168
4	関係機関・団体	341	340
5	大学等	214	315
6	予備	104	92
計		1,000	1,000

(2) 岩手県U・Iターンフェア（県外）

首都圏からのU・Iターンを促進するため、岩手県U・Iターンフェアを2回開催することとしていましたが、上期に予定していたフェアⅠについては、オンラインイベントとして計画通り実施することができました。

また、対面型イベントとして下期に計画していたフェアⅡについては、東京での新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、開催が危惧されたため、7月に財団登録企業に参加意向を聞いたところ、「参加したいとは思わない」との回答が8割弱を占めたことから、中止しました。

No	名 称	開催日	開催場所	変更等
1	フェアⅠ	3年7月17、18日（土、日） 県の移住イベントと共催	オンライン	計画通り実施
2	フェアⅡ	3年10月9日（土）	御茶ノ水 ソラシティ	開催中止

【岩手県U・IターンフェアⅠの開催結果】

岩手県U・IターンフェアⅠは、県の移住イベント「いわてYou&I トーク 2021」と併催し、様々なコンテンツで本県と県内企業の魅力を発信しました。7月17～18日の2日間のイベントでしたが、視聴者数は昨年度を上回りました。

参加者数等	R3 (2日間)	<参考>R2 (7日間)
① イベント参加者数（相談件数） ア 各コンテンツの zoom 参加者数：のべ 202 名 イ 相談集中受付期間の相談件数：のべ 58 件	のべ 260 名 (件)	のべ 235 名 (件)
② ライブ配信の視聴者数 YouTube、Facebook、Twitter（R3 新規）で配信	のべ 2,693 名	のべ 1,181 名
③ 動画の再生回数 プレイメント(たき火トーク)、PR動画(出展者)	11,231 回	3,148 回

2 関係機関との連携

(1) 岩手県内企業紹介キャラバン

学生及び教職員の県内企業への理解を深めることを目的に、県内企業が大学等を訪問し、学生との交流を図る岩手県内企業紹介キャラバン（いわてで働こう推進協議会主催）を、下記のとおり2回実施しました。

財団では、財団の登録企業に対して出展案内を行いました。

学校名	盛岡大学・盛岡大学付属短大	富士大学
日 時	令和3年5月26日(水) 12:00～16:00	令和3年6月23日(水) 15:00～17:00
会 場	盛岡大学アクティブホール	富士大学6号棟4階教室
学生参加者数	135名	21名
出展企業数	33社・団体 (29社+公務員募集4団体)	16社

(2) 高校生に対する県内大学、企業等のPRイベント

県内高校生に対して県内の大学、企業等を紹介するとともに県内就職の魅力を発信し、進学後の県内企業等で働く・暮らすライフプランが見える化することで、若年者の県内定着を促進することを目的として「高校生に対する県内大学、企業等のPRイベント開催業務」を県から受託し準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。

中止に伴い、それまでの準備に要した費用については、実費相当額を精算しました。

(3) ジョブキッズいわて事業

ジョブキッズいわて事業は、新型コロナウイルス感染症が実施を予定していた夏休み期間においても収束する見込みがなかったことから、今年度も中止となりました。

3 就職活動交通費の支援

就職活動交通費支援については、4月に実施要領を改正し、支給対象となる就職活動や支給回数の拡充を図りました。

(1) 拡充内容

① 支給対象となる就職活動の拡充

これまでのいわて就職マッチングフェアへの参加に加え、職場見学や採用試験・面接への参加なども支給対象としました。

② 支給回数の拡充

これまでの「1年度内一人1回」を「1年度内一人2回まで」としました。

(2) 支給実績（3月末日現在）

対象となる活動	東北	東北以外	計	支給金額	備考
フェア参加 (昨年度実績)	48 (77)	35 (63)	83 (140)	590,000 (1,015,000)	※1
職場見学等(拡充分)	8	33	41	370,000	※2
計	56件	68件	124件	960,000円	

振込手数料（118件）72,120円

※1 昨年度のフェアⅣ（8月8日開催）は60件の申請があったが、今年度は中止したため0件。この差60件がほぼ年度間の差になっている。

※2 今年度から拡充した「職場見学等」による申請が41件となっており、拡充効果が実績として現れている。

4 就職支援情報の収集及び提供

(1) インターネットによる情報発信

企業情報検索機能の充実などホームページの改修を行いました。月平均の訪問件数は減少しました。4月から10月までは概ね前年度を上回る状況で推移していましたが、11月から3月までは前年度を下回る状況が続いていることから、減少理由として次の2点が考えられます。

- ① 新たなシステムは11月1日から運用開始しましたが、改修後しばらくはシステムの不具合が続いたこと。
- ② 2月に予定していたいわて就職マッチングフェアⅠを中止したこと。

【財団ホームページの活用状況】

	令和4年3月末	令和3年3月末	前年度対比
登録企業数	1,024社	991社	103.3%
訪問件数（月平均）	15,981件	18,030件	88.6%
アクセス件数（月平均）	594,501件	785,977件	75.6%

（注）訪問件数：当財団のホームページを閲覧した延べ回数（人、回）

アクセス件数：ホームページ中の閲覧された延べページ数（人、回、ページ）

(2) 財団HPの改修

新型コロナウイルス感染症の影響により、企業と求職者との対面型でのマッチングに制約が多くなる中、WEBによる情報提供が重要になってきています。このため、財団ホームページのシステムを管理しているエクナ株式会社と改修作業を進め、11月1日に新たなシステムの運用を開始しました。

【主な改修内容】

① 企業情報検索の利便性強化

- ア 登録企業の企業情報や求人情報の閲覧ランキングの表示
- イ サイト内での検索時に関連する情報を表示するレコメンド機能の追加
- ウ 求人等の更新情報のトップページへの反映

② 市町村・団体・大学等の登録

- ア 市町村や関係団体については、イベントの都度、参加案内・回答、出展内容の情報など紙ベースでやり取りをしていましたが、企業と同様に、メール等でのやり取りや即時の情報更新ができるよう、システムへの登録ができるようになりました。

イ 大学等については、これまで、イベントの都度、ポスター・チラシを郵便等により送付していましたが、学生への周知において、ポスター・チラシという紙媒体よりデータでの提供のほうが都合がよいとする意見も多かったことから、希望する大学等については、システムへの登録ができるようになりました。

③ WEB 上での情報交換

登録求職者が WEB 上で登録企業に対してメールで照会できるようにし、それに対する企業からの回答もメールで行うことができるようになりました。

(3) 岩手日報タブロイド版広告の発行

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、いわて就職マッチングフェアや岩手県U・I ターンフェアの開催が中止を余儀なくされたことで、登録企業と求職者のマッチング機会が減少していたため、中止したイベントを補い、マッチング機会の糸口となるように岩手日報社と連携してタブロイド版広告「イワテでシゴトする」を作成しました。

広告は、12月26日の岩手日報とセットで県内約18万世帯に配布するとともに、3万部を増刷し、岩手県内の全ての高校生へ学校を通じて配布しました。

(4) その他の情報発信

各種イベントの開催に当たっては、親世代の目線にも訴えるため、県内主要地方紙（3紙）への広告を強化したほか、昨年度に引き続きラジオでの5分間の冠番組やスポット広告を行いました。さらに、県内の大学や専門学校に加え、仙台圏の大学にも職員が直接訪問し、学生への周知などを依頼しました。

5 出稼ぎ就労者の援護

(1) 傷病等事故見舞金の給付

互助会員が就労先で災害・疾病によって死亡又は休業したときなどに傷病等事故見舞金を給付していますが、5件の傷病見舞金を給付しました。

【傷病等事故見舞金の給付状況(令和3年4月～令和4年3月)

給付の種類	事故件数	給付金額
死亡見舞金	—	
傷病見舞金	5	350,000 円
重度障害見舞金	—	
火災見舞金	—	
治療証明書交付手数料	(4)	7,650 円
遺族旅費	—	
計	5	357,650 円

※ () 内は事故件数の計に含めない。

(2) 「出稼ぎの^{しかり}葉」の発行

互助会員に対する意識向上と健康で安全な就労を目的として、病気や災害防止の心得などを掲載した「出稼ぎの葉」は12月に発行しました。

(3) 出稼ぎ関係情報の提供

出稼ぎ関係の統計や市町村の関連施策などを載せた「岩手県における出稼ぎの実態」を県と共同で編集して10月に発行しました。

6 法人の運営

(1) 適切な資産運用

令和3年度資金運用計画に基づき、運用年限の分散や高金利債券への買い替えなど財団にとって有利な運用を行った結果、利息収入が増加し、売買に伴う差益も生じました。現在の資産運用状況は別紙のとおりです。

(2) 組織パフォーマンスの向上

就職支援コーディネーター1名を4月1日付で有期労働契約職員として採用しました。現在の組織体制は、正職員1名、無期労働契約職員2名、有期労働契約職員1名となっています。

(3) 理事会運営

令和3年度第1回理事会の開催

日時：令和3年5月21日 11時00分から

場所：ホテルエース盛岡

議題：(決議事項)

第1号議案 定款の変更について

第2号議案 理事の選任について

第3号議案 令和2年度事業報告及び決算の承認について

第4号議案 定時評議員会の招集について

第5号議案 財務規程の改正について

(報告事項)

1 令和3年4月の職務執行状況について

2 令和3年度県出資等法人の運営評価について

令和3年度第2回理事会の開催

日時：令和3年10月29日 13時30分から

場所：ホテルエース盛岡

議題：(決議事項)

第1号議案 副理事長の選定について

(報告事項)

- 1 令和3年度上半期職務執行状況について
- 2 令和3年度岩手県出資等法人運営評価レポートについて

(意見交換)

テーマ「今後の就職イベント等について」

令和3年度第3回理事会の開催

日時：令和4年3月18日 13時30分から

場所：ホテルエース盛岡

議題：(報告事項)

令和3年度の職務執行状況について

(決議事項)

- 第1号議案 令和4年度事業計画について
- 第2号議案 令和4年度収支予算について
- 第3号議案 ソフトウェア資産取得資金取扱規程の一部改正について

(4) 評議員会運営

令和3年度定時評議員会の開催

日時：令和3年6月10日 13時30分から

場所：ホテルエース盛岡

議題：(報告事項)

令和2年度事業報告について

(決議事項)

- 第1号議案 令和2年度決算の承認について
- 第2号議案 定款の変更について
- 第3号議案 理事の選任について

(5) 臨時理事会及び臨時評議員会

理事及び評議員の迅速な選任を行うため、下記のとおり書面決議を行いました。

会議名	決議の日	決議内容
第1回 臨時理事会	4月23日	① 評議員の選任 栗野智華子、大沢義時、大志田研、古沢隆之 ② 理事の選任 安藤知行、長澤秀則、水野匠、三上邦彦
第1回 臨時評議員会	4月30日	同上

会議名	決議の日	決議内容
第2回 臨時理事会	6月10日	① 理事長の選定 藤澤敦子 ② 副理事長の選定 安藤知行
第3回 臨時理事会	7月26日	① 評議員の選任 日原潤一 ② 理事の選任 瀬川浩昭
第2回 臨時評議員会	8月3日	同上
第4回 臨時理事会	2月9日	評議員の選任 大志田憲
第3回 臨時評議員会	2月21日	同上